



シーカグラウト® 125 SikaGrout® 125

PCグラウト用 高耐久・高耐寒混和剤

NETIS登録済み 番号HK-200011-A

BUILDING TRUST



テクニカルデータシート

シーカグラウト® 125

(旧製品名: マスターフロー 125)

高耐久・高耐寒グラウト混和剤

国土交通省「NETIS」登録商品 No. HK-200011-A

概要

シーカグラウト® 125 [SikaGrout® 125] は、無機系窒素化合物を主成分とするPCグラウト用の高耐久・高耐寒グラウト混和剤です。高粘性型および超低粘性型のPCグラウト材に添加することで、PC鋼材の腐食抑制に優れた性能を発揮します。また、外気温が $-20\sim 0^{\circ}\text{C}$ 程度の過酷な条件下においても雪寒仮囲いや給熱養生を行うことなくPCグラウト材の凍結を防止する優れた耐寒性能を有しているため、寒冷地における寒中のPCグラウト工事が可能となります。

特長

1. 高粘性型および超低粘性型PCグラウト材の基本的諸物性に悪影響を及ぼしません。
2. 安定した防錆効果によりPC鋼材の腐食を抑制します。
3. 外気温が -20°C 程度まで低下する過酷な条件下でも、初期凍害を防止できます。
4. $-20\sim 0^{\circ}\text{C}$ の条件下においても、セメントの水和反応は進行し、PCグラウトの強度が材齢とともに発現します。
5. 雪寒仮囲いや給熱養生を行うことなく、寒冷地における寒中のPCグラウト工事が可能となります。

主成分および物性

主成分	外観	pH (20℃)	密度 (20℃)
無機系窒素化合物	黄色透明液体	8 ~ 10	1.20 ~ 1.30

主な用途

- 塩害（飛来塩分や融雪剤の散布）を受ける可能性のあるプレストレストコンクリート構造物用PCグラウト
- 寒冷地において寒中施工で凍害を受ける可能性のあるプレストレストコンクリート構造物用PCグラウト

使用量

1. 耐久性（防錆性能）向上を目的とする場合
セメント質量あるいは結合材質量に対して7.5 ~ 22.5%の範囲でご使用ください。
2. 耐寒性向上を目的とする場合

PCグラウト材の種類	最低外気温			
	-5°C まで	-10°C まで	-15°C まで	-20°C まで
高粘性型	7.5%	12.5%	17.5%	22.5%
超低粘性型	7.5%	12.5%	15%	17.5%

備考：使用量：高粘性型（混和剤タイプ）＝セメント質量×%、高粘性型（プレミックスタイプ）＝結合材（プレミックス材）質量×%
超低粘性型＝結合材（プレミックス材）質量×%

施工方法

1. 練混ぜ方法：



- 練上り温度：PCグラウトの練上り温度は、高耐久性グラウトは5～35℃、高耐寒性グラウトは5℃以上を確保してください。
- グラウト注入：標準の注入方法により充填することができます。
- 養生：高耐寒性グラウトは、外気温が－20℃までは特別な養生（雪寒仮囲い、給熱）は必要としません。

練混ぜ水の補正

本製品は固形分率40%のため、製品の希釈水は練混ぜ水の一部として補正してください。

PCグラウト材の種類	W/C or W/B (%)	セメントあるいはプレミックス材1袋あたりの練混ぜ水量 (kg/袋)				
		シーカグラウト 125の使用量 (C or B x %)				
		7.5%	12.5%	15%	17.5%	22.5%
高粘性型	44	9.88	9.13	—	8.38	7.63
	43	9.63	8.88	—	8.13	7.38
	42	9.38	8.63	—	7.88	7.13
	41	9.13	8.38	—	7.63	6.88
	40	8.88	8.13	—	7.38	6.63
超低粘性型	38	8.38	7.63	7.25	6.88	—
	37	8.13	7.38	7.00	6.63	—
	36	7.88	7.13	6.75	6.38	—
	35	7.63	6.88	6.50	6.13	—
	34	7.38	6.63	6.25	5.88	—

【練混ぜ水の補正算出方法（高粘性型・W/C=42%・シーカグラウト 125=C×7.5%使用の例）】

- ① シーカグラウト 125の使用量 (kg/袋) = 25 × 7.5/100 = 1.875
- ② 補正水量 (kg/袋) = 1.875 - (1.875 × 40/100) = 1.125
- ③ 練混ぜ水量 (kg/袋) = 25 × 42/100 - 1.125 = 9.38

使用方法

本製品の1バッチあたりの計量値は、1バッチあたりのセメントあるいはプレミックス材質量とその使用量 (C or B × %) から計算し、バッチごとの計量は、その都度現場で計量するか、あるいは小分けした3種類のパック (A・B・Cパック) の組み合わせと数により所定量をご使用ください。

1バッチあたりのセメント袋数 (袋)	パックの種類	パックの種類および数とシーカグラウト 125の使用量									
		C or B × 7.5%		C or B × 12.5%		C or B × 15%		C or B × 17.5%		C or B × 22.5%	
		袋数 (袋)	質量 (kg)	袋数 (袋)	質量 (kg)	袋数 (袋)	質量 (kg)	袋数 (袋)	質量 (kg)	袋数 (袋)	質量 (kg)
3	Aパック	1	5.625	1	5.625	—	—	1	5.625	3	16.875
	Cパック	—	—	1	3.75	3	11.25	2	7.5	—	—
	使用量 (kg/バッチ)		5.625		9.375		11.25		13.125		16.875
4	Bパック	—	—	1	5	3	15	2	10	3	15
	Cパック	2	7.5	2	7.5	—	—	2	7.5	2	7.5
	使用量 (kg/バッチ)		7.5		12.5		15		17.5		22.5
5	Aパック	1	5.625	1	5.625	2	11.25	3	16.875	3	16.875
	Bパック	—	—	2	10	—	—	1	5	—	—
	Cパック	1	3.75	—	—	2	7.5	—	—	3	11.25
	使用量 (kg/バッチ)		9.375		15.625		18.75		21.875		28.125

使用及び取り扱い上の注意

1. 本製品は、他の混和剤（特に強酸性）と混合使用は避けてください。
安全にご使用いただくために
 - ・本品は、亜硝酸化合物を使用しておりますので、下記の注意事項を十分注意して取り扱ってください。
 - ・他の混和剤や化学物質（特に強酸性）と混合して使用しないでください。有害ガスを発生する恐れがあります。
 - ・ロダン化合物を含有する混和剤を使用したコンクリートと併用しないでください。
 - ・他の混和剤との併用については、必ず弊社へご相談ください。
2. 取り扱いに当たっては、保護マスク、保護メガネ、保護手袋等の保護具を着用してください。
3. 飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぎ多量の水を飲ませた後、専門医の診察を受けてください。
4. 皮膚に付着した場合は、速やかに水と石鹼で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
5. 眼に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
6. 廃棄処分する場合は、安全データシート（SDS）を参照して処分してください。
7. 本製品は0℃以上の屋内またはシート内等で保管してください。
8. 凍結した場合には、弊社にお問い合わせください。

荷姿

- Aパック：22.5 kg ダンボール箱入り（5.625 kg ポリ袋×4袋）
- Bパック：20 kg ダンボール箱入り（5 kg ポリ袋×4袋）
- Cパック：22.5 kg ダンボール箱入り（3.75 kg ポリ袋×6袋）
- 20 kg 缶入り

規制

各地域固有の規制の結果、製品のパフォーマンスが国により異なる可能性があることにご留意ください。実際の施工現場に関する情報は、その地域のプロダクトデータシートをご確認ください。

免責事項

シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料、接着面、現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のテクニカルデータシートの最新版をご参照下さい。テクニカルデータシートの最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。各地域固有の法令及び規制に対しても、上記免責条項が適用されることがあります。上記免責条項を変更するには、いかなる場合でも、スイス・バールにあるシーカ本社法務部による許可が必要となります。